

令和 8 年度国際環境協力基本研修 実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目的

途上国由来の環境負荷が大きくなっていることから、地球環境問題や広域環境問題の解決には国際環境協力が重要であり、国及び地方公共団体等、各主体の取組が求められている。このため、環境に関する行政又は分析業務を担当している職員であって国際環境協力に関心を有する者に対し、講義、関連施設見学を通じて国際環境協力に関する基本的知識を習得し、国際環境協力への関心を高め、国際環境協力への参加の動機付けを目的とした研修を実施する。本研修では、国際環境協力の先進地である北九州市の豊富な知見を共有し、国際環境協力の問題や課題について討議するとともに、研修生間の交流を通じて、相互啓発及びネットワーク形成を図る。

2. 期間及び会場

本研修は、指定の日時に実施するオンライン講義を受講し、指定の期間に講義動画を全て視聴した上で、北九州市に集合し実施する。

(1) 期間

全体：令和 9 年 1 月 5 日（火）～ 1 月 29 日（金）

動画視聴期間：令和 9 年 1 月 5 日（火）～ 1 月 26 日（火）

集合研修期間：令和 9 年 1 月 27 日（水）～ 1 月 29 日（金）

(2) 集合研修の実施場所（予定）

①講義等

JICA 九州（福岡県北九州市八幡東区平野 2 丁目 2-1）

②現地見学

タカミヤ環境ミュージアム（福岡県北九州市八幡東区東田 2 丁目 2-6）

③宿泊先

JICA 九州（福岡県北九州市八幡東区平野 2 丁目 2-1）

※施設の紹介は、「13. その他」を参照。

3. 教科内容 4 頁のとおり

4. 研修予定人数 30 名程度

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれかにも該当する者とする。

(1) 国及び地方公共団体等において環境に関する行政又は分析業務を担当している職員で、国際環境協力について関心を有する者、又は環境省において実務修習中の環境行政実務研修生。

(2) 研修受講に支障のない健康状態にある者。

(3) 所属長の推薦を受けた者。

6. 研修生の推薦方法

所属長は、研修生を推薦する場合、別紙「被推薦者名簿」を、令和 8 年 11 月 13 日（金）までに環境調査研修所に提出すること。送付は電子での提出を基本とし、その際、環境調査研修所所長あての文書は要さない。

なお、2 名以上推薦する場合、被推薦者名簿に推薦希望の順位を示すこと。

【提出先】環境調査研修所教務課：KYOMU_KA@env.go.jp

7. 被推薦者が定員を超えた際の調整方法
 - ・ 同じ推薦機関で2名以上の希望があった場合、推薦希望順位に留意し、調整する場合がある。
 - ・ 定員を超えた場合、地方公共団体を優先する場合がある。
 - ・ 被推薦者数を調整するに当たっては、業務経験及び過去の受講実績等を考慮する場合がある。
8. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、「6. 研修生の推薦方法」の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。
9. 修了証書の交付

受講の状態（修了又は未修了）については、研修終了後、所属長に通知する。なお、所定の課程（原則として1割以上欠課した者を除く。）を受講した場合に修了とする。また、修了した場合、修了証書（電子データ）を交付する。
10. 経費
 - (1) 旅費

往復に必要な旅費は所属長の負担とする。
ただし、環境省の職員については、以下の負担とする。
環境専門調査員：所属が負担。
それ以外の職員：環境調査研修所が負担。
 - (2) 滞在費

別途、滞在費として必要な食費等を徴収する。
詳細については、研修生決定後に連絡する。
 - (3) 宿泊費

宿泊施設を環境調査研修所が借り上げるため、前泊を希望する場合も含め、費用負担は不要。
11. 日程

別添2「令和8年度国際環境協力基本研修日程表」のとおり。
12. 研修実施方法
 - ・ 研修生は、別途案内する方法により、講義動画を集合研修開始日前日までに視聴すること。
配信のURLは研修生決定後に連絡する。
 - ・ 講義動画の視聴確認はアンケートへの回答により行う。アンケートの提出方法、提出期限は別途連絡する。
 - ・ 集合研修は福岡県北九州市内において行う。集合場所・時間等は研修生決定後に連絡する。

13. その他

宿泊先である JICA 九州について、施設の様子が分かる資料を以下の通り記載する。研修受講の検討に当たり、参考とすること。なお、QR コードからも参照することができる。

①JICA 九州の紹介 (YouTube、2 分 38 秒) (日本語)

https://youtu.be/x8251NzG-Xc?si=wZk9MF_4pyvfWrvo



②JICA 九州の紹介 (YouTube、4 分 31 秒) (一部英語)

<https://youtu.be/-CHCnQrHv5w?si=1EGdTP1w2Kn5kgp4>



③JICA 九州の施設紹介 (パンフレット) (英語)

<https://www.jica.go.jp/Resource/kyushu/english/office/c8h0vm0000fgiksk-att/kyushu01.pdf>



[令和8年度国際環境協力基本研修／教科内容]

- ・1・2の【動画講義】については、令和9年1月5日（火）～1月26日（火）の期間に視聴すること。集合研修では、講義動画を受講したことを前提とするため、必ず集合研修開始前までに全ての動画講義を受講のうえ、アンケートを提出すること。

I 国際環境協力の意義と実態を理解する

1. 【動画講義】途上国の環境問題の現状と JICA の国際協力による取組・・・1時間30分
途上国における環境問題の実状と協力活動の実態について理解を深める。
2. 【動画講義】途上国の環境問題に対する我が国の自治体・地域レベルでの取組・・・1時間30分
途上国における環境問題の実状を踏まえて、我が国における自治体での取組事例やその意義を学ぶ。
3. 【基調講義】我が国の国際環境協力の現状と課題・・・1時間10分
我が国の環境行政の動向を学び、開発途上国等に対する我が国の環境協力の現状及び課題、今後の方向性について、概要を理解する。
4. 【留学生とのディスカッション】・・・1時間40分
北九州市内の大学に留学している留学生との対話を通じ、海外の実態を理解する。
5. 【国際協力経験者とのディスカッション】・・・1時間50分

II 国際環境協力のベースとなるフィールドについて学ぶ（北九州市の事例）

6. 【見学・学習】タカミヤ環境ミュージアム・・・50分
北九州市における環境学習施設を訪問し、地域の環境関係の歴史と現状を理解する。

III 国際環境協力の具体的な実施事業を知る

7. 【事例紹介】福岡県、北九州市の国際環境協力事例紹介・・・1時間40分
自治体による具体的な取組事例を紹介し、自治体の環境協力の考え方を理解する。
8. 【活動紹介】日本の国際協力の現状と自治体への期待・・・1時間20分
JICA の国際協力の取組を学ぶとともに、自治体が国際環境協力に取組む意義を理解する。
9. 【事例紹介】「滋賀県・琵琶湖から世界へー第1回世界湖沼会議から「世界湖沼の日」に至る
滋賀県の取組ー」・・・1時間30分
世界に通ずる自治体の先進的な取組を学ぶことで、自治体の国際環境協力の在り方等を理解する。

IV 得られた知識を活用するために

7. 【演習】講義、施設見学、対話を踏まえて、各自の今後の取組についてグループ討議
・・・5時間10分

V その他

- 開・閉講式、オリエンテーション・・・35分

合計 18時間45分

（注）都合により一部変更になることがある。

※開講式は9時15分から行う。集合時間・場所は研修生決定後に連絡する。

※最終日の閉講式終了時刻は12時00分頃を予定しているが、講義時間の延長等により若干遅れる場合がある。

帰路の航空機、列車等の都合により、講義や閉講式等を欠席することは認めない。